

# 令和7年度女性部会報告



株式会社 四電技術コンサルタント  
仲間 真紀 (MAK I NAKAMA)  
(総合技術監理部門, 応用理学部門, 建設部門)

## 1. はじめに

徳島県技術士会女性部会（以下、「女性部会」と略記）は、平成 25 年に発足し、令和 7 年 11 月現在は、9 名で活動している。女性部会の活動は、技術系の職場などで働く女子社員や技術者を目指す女子学生を対象として気軽に意見交換ができる場の提供と、女性技術者間のネットワークづくりへの寄与を目的とした「阿波なでしこ技術サロン」を平成 27 年度から平成 30 年まで毎年 1 回の頻度で開催してきた。

また、令和元年度には（公社）日本技術士会四国本部において男女共同参画推進小委員会が設立されたことにより、「阿波なでしこ技術サロン」は、「四国なでしこ技術サロン」として、徳島県から四国四県に拡大して開催していくこととなった。令和 2 年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点より技術サロンが中止となったが、令和 3 年度は「四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 5）」として徳島県で開催された。以降、香川県、愛媛県、高知県で開催され、四国を一周し、本年度は 4 年ぶりに徳島において「四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）」が開催された。

本稿では、本年度の女性部会会議と、四国本部の男女共同参画推進小委員会において実施した「四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）」の開催について報告する。

## 2. 連絡会議の開催

当会議の概要、および会議にて確認・協議した内容を以下に示す。

### （1）概要

- ◆ 開催日時：2025 年 6 月 1 日（日）12:30～14:30
- ◆ 開催場所：徳島市 シビックセンター 活動室 1
- ◆ 出席者：徳島県技術士会メンバー 9 名  
他 日本技術士会四国本部男女参画推進小委員会メンバー 9 名  
子供参加者 5 名

## (2) 議事内容

- ◆ 今年度の活動計画について（確認）
- ◆ 四国本部との連携について
  - ・四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）の開催について
  - ・青年技術士交流会との連携：科学技術体験フェスティバルへの協力について
- ◆ その他：近況報告・連絡事項等

## (3) 議事まとめ

- ◆ 昨年度の活動方針および過年度の活動実績を元に意見交換し、令和7年度の活動計画を決定した。
- ◆ 四国なでしこ技術サロンは、以下の内容について全員の了承を得た。
  - ・四国本部男女共同参画推進小委員会との連携し実施する「四国なでしこ技術サロン」は、本年度「四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）」として、10/18（土）[10月第3土曜日「なでしこの日」]に徳島県において開催する（次頁参照）。
  - ・今年度は、第一部で防災ワークショップ、第2部で女性技術者の意見や悩み等を考える例年のグループワークショップを開催し、申込先は四国本部とする（日本技術士会CPD認定行事）。
  - ・グループワークショップの課題は、参加申込時にアンケートを取り、より有意義なテーマを選定することとする。
  - ・徳島県技術士会の本会メンバーはオブザーバーとして参加することとする。
- ◆ 本年度の科学体験フェスティバルは、香川大学での「かがわけん科学体験フェスティバル」に出展および当日運営を行う（徳島大学は学内出展のみのため出展及び当日運営は無し）。
- ◆ その他（近況報告等）：それぞれの近況報告を行った。また、会議はランチタイムミーティングとした。

## 3. 会議を終えて

今年度から新たなメンバーが1名加わり、女性部会のメンバーは9名となった。メンバー全員が揃い、元気な姿で近況を報告し合い、活発な意見交換により有意義な令和7年度会議を開催することができた。女性部会は、「楽しく、わかりやすく、ためにな

る」をモットーとした活動をする、そのためには「無理のない範囲で活動を行う」、「活動内容は、メンバーで意見交換を行って決定する」を活動方針として、今後も活動を続けていきたい。

本年は「四国なでしこ技術サロン」が四国を一周して、徳島からの再スタートとなる。新しい試みとして、これまで好評であった女性技術者目線のグループワークショップに加えて、過年度より意見のあった「防災」の視点を加えたワークショップを展開していく事となった。四国四県の女性技術者や技術者を目指す女子学生とお会いし、楽しく有意義な繋がりができる事を期待している。

#### 4. 四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）の開催結果

四国なでしこサロン（阿波 vol. 6）の概要およびサロンの様子を以下に示す。

##### （1）概要

- ・ 開催日時：令和 7 年 10 月 18 日（土）13:30～16:30
- ・ 開催場所：シビックセンター4階 第3活動室
- ・ 主催：（公社）日本技術士会四国本部男女共同参画推進小委員会
- ・ 共催：徳島県技術士会女性部会
- ・ 参加者数：一般参加者 17 名 四国メンバー15 名 講師 1 名 子供 4 名 計 37 名
- ・ プログラム

##### 【なでしこ技術サロン】

13:30～13:40 第一部：はじめに（趣旨説明等含む）

13:40～14:30 防災ワークショップ

「今ここで南海トラフ地震が発生！あなたはどうする？」

講師：森正宏様（元防災図上訓練士）

14:30～14:40 第一部まとめ

14:40～15:40 第二部：グループワーク（ワークショップ方式、2部制）

15:40～16:20 各班のまとめとグループ発表

16:20～16:30 おわりに（講評、今後の実施方針等）

##### 【こどもワークショップ】

13:40～14:40 防災ワークショップ（大人と一緒に）

14:40～15:40 カードワーク

15:40～16:20 上記の大人ワークショップと合同



## (2) サロンの様子

サロンの様子を以下に写真で示す。



写真1 緊迫感漂う第一部防災ワークショップの様子 講師：森正宏様



写真2 第二部グループワークの様子



写真3 A班(左)・B班(右)の発表の様子



写真4 C班(左)・D班(右)の発表の様子



写真5 子供ワークショップ発表の様子



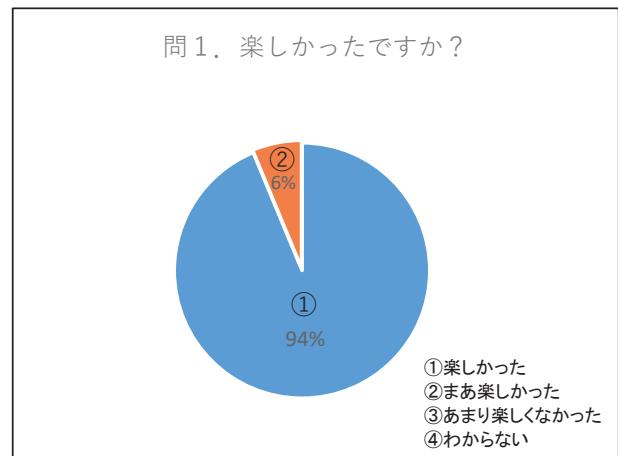
写真6 参加者全員の集合写真

### (3) アンケート結果

#### 問1. 楽しかったか？

問1では、今回の技術サロンが楽しかったかどうか、択一回答を促した。

楽しかったと回答した人は94%(15名)、まあ楽しかったと回答した人は6% (1名) となっており、概ね楽しい会合であったことが伺える。

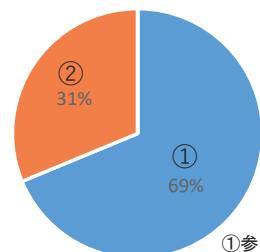


## 問2. 参考になったか？

問2では、今回の技術サロンが自分の方向性の参考になったかどうかについて択一回答を促した。

参考になったと回答した人は69%(11名)、まあ参考になったと回答した人は31%(5名)となっており、概ね参考になったことが伺える。

### 問2. 参考になりましたか？



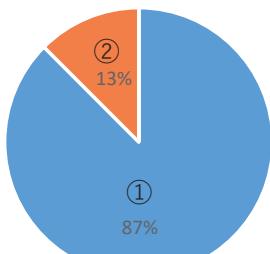
- ①参考になった
- ②まあ参考になった
- ③あまり参考にならなかった
- ④わからない

## 問3. 今回の話し合いの形式は？

問3では、ワークショップ形式を用いたグループワークの形式について択一回答を促した。

良かったと回答した人は87%(14名)、まあ良かったと回答した人13%(2名)となっており、概ね話し合いの形式について適切であったことが伺える。

### 問3. 話し合いの形式は？



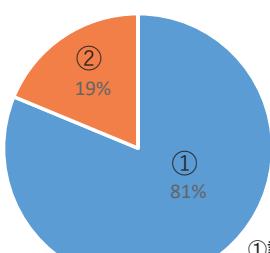
- ①良かった
- ②まあ良かった
- ③あまり良くなかった
- ④わからない

## 問4. 話ができたか？

問4では、グループ内で自分の話ができたかどうかについて択一回答を促した。

話ができたと回答した人は81%(13名)、まあ話ができたと回答した人は19%(3名)となっており、概ね話ができたことが伺える。

### 問4. グループ内で話ができたか？

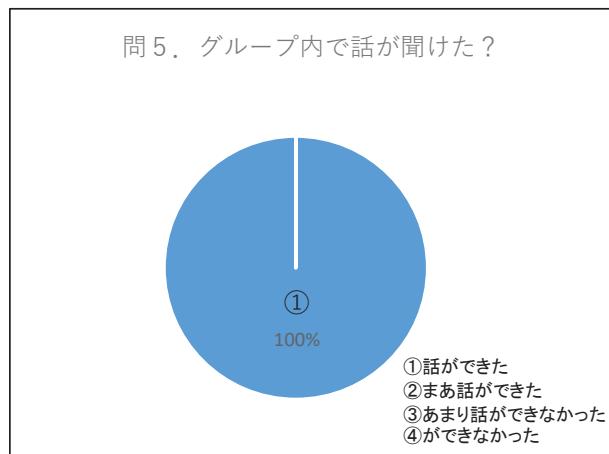


- ①話ができた
- ②まあ話ができた
- ③あまり話ができなかった
- ④ができなかった

### 問5. 話が聞けたか？

問5では、グループ内で他の人の話が聞けたかどうかについて択一回答を促した。

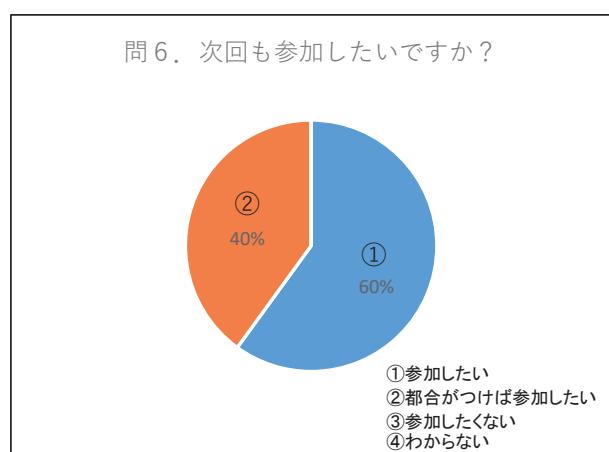
話が聞けたと回答した人が100%(16名)となっており、皆が他の人の話を聞けたことが伺える。



### 問6. 次回も参加したいか？

問6では、次回の技術サロンへの参加意向について択一回答を促した。

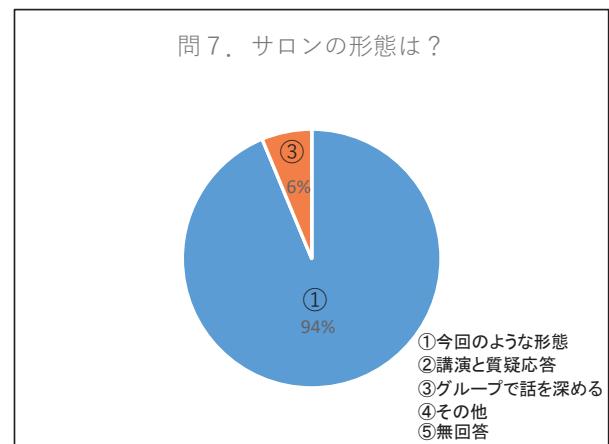
参加したいと回答した人は60%(9名)、都合が付けば参加したいと回答した人は40%(6名)となっており、参加者のほとんどが次回への参加を希望している。



### 問7. 今後の開催形態は？

問7では、今後の開催形態（二部構成）について択一回答を促した。

今回のような形態と回答した人が94% (15名)、グループで話を深めると回答した人が6% (1名) となっており、概ね今回の開催形態で良いことが伺える。



### 問8. 自由意見

抜粋キーワード	記述回答
防災ワークショップ	・防災ワークショップが良かった。
悩みが話せた	・みんな同じような悩みを持っていることに安心した。 ・気になる youtube チャンネルを教えてもらった。是非参考にしたい。
モチベーションがあがった	・建設業に関わる女性の話が聞けて良かった。 ・前向きに仕事ができそうな気がした。 ・初めて参加しましたが、とても刺激になりました!! 勉強頑張ります。
楽しかった 今後の継続 お礼	・色々なお話が聞けて良かったです。 ・たくさんお話が聞けて参考になったので、次回もこのような時間があればうれしいです。
時間	・もっと長い時間したかったです。 ・メンバーチェンジがあまりできなかった。チェンジが無いなら無いで話が深められると思うので、チェンジするのであればもう少し時間が必要。
会の形態	・同じ業界の人達と世間話をする時間が良かった。討論会よりもこういった形の方が気楽でよい。

### 5. 四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）を終えて

四国本部男女共同参画推進小委員会と連携して実施する「四国なでしこ技術サロン」は、四国4県を一周し、本年度「四国なでしこ技術サロン（阿波 vol. 6）」として4年ぶりに徳島での開催となった。

継続参加してくださる方も増え、四国内での女性ネットワークが確実に広がり、このサロンが女性技術者同士の居心地の良い場所として定着し、一定の役割を果たしたと感じられる。今後、各県の継続参加者や新規参加者がスタッフとして参加・運営し、サロンが新たな活動へと発展していく事を大いに期待する。

謝辞：連絡会議および四国なでしこ技術サロン開催にあたって、ご理解いただきました理事および会員の皆さんに感謝・御礼申し上げます。